

Erasmus medical center

にて短期研修を終えて

(2週間滞在し、10日間病院に、土日は完全offで観光♪)

和歌山県立医科大学 消化器内科  
川西 幸貴

# オランダと言えば...

- 安楽死
- soft drugs
- 売春

が合法という日本人にとって、とてもuniqueな考え方の国！！

あと、ミッフィーやチューリップ、風車なども有名。

# ERASMUS MEDICAL CENTER (A OLDER BUILDING)



# ERASMUS MEDICAL CENTER (A NEW BUILDING)



# 病院の紹介

---

- ロッテルダムにある病床数1320という、オランダ最大の大学医療センター！！
- 現在、拡張プロジェクトが進んでおり、2017年に完成予定。
- Gastroenterology and hepatologyには19名の医師、6名の秘書さんが...！！
- Gastroenterologists in trainingは15名。
- 無料のvending machineがいっぱ

## 労働条件など...

---

- 看護師さんは、週休3日。ドクターも可能。
- 研修医の給料は3000 Euro/month  
研修終われば8000 Euroくらいだとか。
- Conferenceは、毎朝8:15からと、みんなでランチを食べながらの2つ。
- 毎回、breads with ham or cheese betweenでした...昼ごはんは基本、朝ご飯の延長と捉え、こだわらないそう。グルメな日本人には厳しいかもしれない。

# 内視鏡室にて...(1)

- 合計6室あり、凄く大きい。当科と比べ3倍以上はある。外人サイズなのか？
- 日本人は内視鏡がとても上手と評判！！
- 可能であれば、上部も下部もミダゾラムとフェンタニルを1Aずつ使う。
- 上部のスクリーニングがもの凄く早い。  
(数分) 早すぎて写真がぶれている。
- 大腸内視鏡は必ず2人法でやり、看護師さんの存在は欠かせない。

## 内視鏡室にて...(2)

- ・ NBIとmagnifying endoscopeは一基ずつ配備。両方ともあまり使っていないとのこと。Capillary pattern? Pit pattern? とsupervisorに聞かれた。
- ・ 基本的にあまり色素散布はしないよう。indigoって何? とsupervisorに聞かれた。
- ・ 時間のかかる手技の途中でコーヒーを飲んで少しリラックスしていた。
- ・ 基本、患者さんは我慢しない。Stop it!!と言って、スコープをどかそうと手を持ってくる。

# オランダの安楽死法の対象

- ①本人の自発的で真摯な継続した意思。
- ②耐え難い苦痛（神経的苦痛を含む）
- ③治癒の見込みがない
- ④医師が第三者の医師と相談
- ⑤医師が事後届け出るという条件を満

たす場合、医師は刑法上免責される。

なお、同法は12歳以上の未成年にも安楽死権を与えた上、患者が判断力のある間に残した事前の安楽死希望に法的効力を認めている。

## 驚いた事色々...

- ・アセトアミノフェンを3000mg/日飲みなさいと言われた！！
- ・更衣室がまさかの男女共通！！オランダ人はあまり気にしない様子。
- ・語学に堪能な方がかなり多い！！医者は流暢すぎて、「すみませんがゆっくり話してください。」と毎回頼まざるをえませんでした....。
- ・EUでは、医師免許互換制度が進んでおり、他国からの医師でも特定の条件を満たせば診療できる。

# ホームステイさせて頂いたSHUGULさん一家と



# アムステルダムにて記念撮影



日本食はやっぱり人気！！



# 日本の文化！！



# ミツフィーと風車



# まとめ

---

- ・日本の内視鏡技術は凄いと評判！！日本に行って学びたいと言った医師が何人もいました。
- ・オランダは、安楽死、soft drugs、売春が合法というとてもuniqueな国。
- ・やっぱり医学にしても、食事にしても文化にしても、海外の日本に対する肯定的認知度は高い。